

13 軟式野球競技

- 1 主催 公益財団法人日本スポーツ協会・四国4県教育委員会・四国4県スポーツ協会
(主管) 四国軟式野球連盟・高知県軟式野球連盟
- 2 期 日 2026年8月1日(土) ※8月2日(日) 予備日
- 3 会 場 日本トーター高知市総合運動場 野球場
〒780-8031 高知県高知市大原町 158 TEL088-833-4061
- 4 種別(種目)及び参加人員選手

| 種別 | 監督 | 選手 | 参加県数 | 計 | 本大会出場数 |
|------|----|----|------|----|--------|
| 成年男子 | 1 | 15 | 4 | 64 | 2 |

5 日 程

監督会議及び抽選会

開催日時 2026年7月31日(金) 午後3時

開催場所 日本トーター高知市総合体育館 会議室

〒780-8031 高知県高知市大原町 158 TEL088-833-4061

競技開始時間及び開門

2026年8月1日(土) 午前7時30分開門 9時00分試合開始

6 試合の有無

当日が雨天の場合、試合の有無は午前6時に決定することを原則とするが、天候の変化が予想される場合は、開始時間を遅らせることがある。尚、いずれの場合も各チームへは事務局より連絡する。

(連絡責任者 高知県軟式野球連盟 理事長 光富 隆 携帯 090-4333-4933)

7 使用球

全日本軟式野球連盟公認球M号(ナガセケンコー社製)

8 競技上の規定及び方法

- (1) 競技規則については、2026年公認野球規則・全日本軟式野球連盟内規及び、本大会特別規則を適用して行う。
- (2) 第80回国民スポーツ大会(軟式野球競技)四国ブロック大会競技実施方法により行う。
- (3) 指名打者制を採用する。(公認野球規則5.11)

9 参加資格

国民スポーツ大会(軟式野球競技)実施要項により、各県連会長の推薦する代表チームとする。監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認軟式野球コーチ1、公認軟式野球コーチ2、または公認軟式野球コーチ3、公認軟式野球コーチ4の有資格者であること。

10 表彰

四国ブロック代表となった各県に賞状を授与する。(高知県スポーツ協会会長名)

11 参加申込

- (1) 申込締切日 2026年7月3日(金)
- (2) 参加料 30,000円(監督会議受付時に持参のこと。)
- (3) 申込先 メールでの申込とする。

高知県軟式野球連盟事務局 e-mail: kochijsbb@icloud.com

12 その他

試合中の負傷等に対し、応急手当の程度しか責任を負いませんので保険証等をご持参下さい。

第80回国民スポーツ大会（軟式野球競技）

第47回四国ブロック大会

（競技実施方法）

1 競技方法について

- 代表チームの選考方法はそれぞれの代表決定戦の勝者2チームを四国ブロック代表とする。
- 全試合とも特別継続試合とする。天候等により特別継続試合となった試合については、できる限りその日に勝敗を決めるように努めるものとするが、やむを得ず実施できない場合は、翌日または後日に順延する。
- 特別継続試合とする試合については、本部役員、担当審判員、その他役員により協議し決定する。
- 試合が9回を完了して同点の場合は、即タイブレーク方式とする。それでも勝敗が決定しない場合は、タイブレーク方式による特別延長戦を状況の許す限り勝敗が決するまで行うことを原則とするが、天候、健康管理上等の諸問題があると判断される時は、本部役員並びに審判員等により、協議のうえ対処、決定する。
- 上記事項及び競技規則を原則として実施するものとするが、競技方式並びに以下の競技規則において定めのない状況等、判断を要する事態が発生した場合は、各県理事長の協議により細則および実施規則等を決定する。

2 競技規則について

- 2026年度公認野球規則ならびに、公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者規定・細則・連盟取り決め事項・連盟特別規則を準用し、さらに四国軟式野球連盟取り決め事項及び、本大会特別規則を適用して実施する。

3 正式試合について

- 試合の回数は9回戦とし、正式試合となる回数を7回とする。
- 暗黒、降雨等により7回以前に試合が続行できなくなった場合は、翌日、または後日、特別継続試合を行う。
- 7回以降7点差以上が生じた場合はコールドゲームとする。また、7回が完了して試合続行が不可能な場合はコールドゲームが適用される。

4 延長戦の取扱いについて

試合が9回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、タイブレーク方式により勝敗を決定する。

タイブレーク方式とは

継続打順とする。前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者は順次前の打者として、無死一、二塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。

5 抗議について

監督が当該プレイヤーのいずれか1名のみとする。